

## ■財政健全化指標関係 公営企業会計資金不足比率の状況

### ○法適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	流動負債 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	流動資産 ③	小計 ④=①+②-③	解消可能 資金不足額 ⑤	資金不足額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
水道事業	H29	124,275	0	1,177,812	△ 1,053,537	0	△ 1,053,537	625,096	-
	H28	130,894	0	1,256,842	△ 1,125,948	0	△ 1,125,948	570,346	-
病院事業	H29	1,338,508	121,669	1,475,939	△ 15,762	0	△ 15,762	6,164,531	-
	H28	762,513	96,039	1,327,607	△ 469,055	0	△ 469,055	5,895,807	-

### ○法非適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳入 (繰越財源控除) ③	小計 ④=①+②-③	解消可能 資金不足額 ⑤	資金不足額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
簡易水道事業	H29	1,675,072	0	1,737,080	△ 62,008	0	△ 62,008	512,748	-
	H28	1,383,208	0	1,441,330	△ 58,122	0	△ 58,122	511,606	-
集落排水事業	H29	401,766	0	419,591	△ 17,825	0	△ 17,825	99,627	-
	H28	390,711	0	415,392	△ 24,681	0	△ 24,681	98,232	-
公共下水道事業	H29	2,753,457	0	2,804,210	△ 50,753	0	△ 50,753	385,946	-
	H28	2,646,601	0	2,690,609	△ 44,008	0	△ 44,008	347,977	-
浄化槽整備事業	H29	257,071	0	279,025	△ 21,954	0	△ 21,954	41,187	-
	H28	266,981	0	285,577	△ 18,596	0	△ 18,596	37,446	-
市民太陽光発電所事業	H29	56,855	0	69,827	△ 12,972	0	△ 12,972	47,216	-
	H28	38,842	0	61,436	△ 22,594	0	△ 22,594	43,855	-

### ○法非適用企業(用地関係会計)

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳入 (繰越財源控除) ③	土地収入見込額 ④	地方債現在高 ⑤	長期借入金 ⑥	小計 ⑦=①+②-③ +(⑤+⑥-④)	解消可能 資金不足額 ⑧	資金不足額 ⑨=⑦-⑧	事業規模 ⑩	資金不足比率 ⑨/⑩
工業用地造成事業	H29	186,375	0	189,213	273,832	226,272	0	△ 50,398	0	△ 50,398	276,670	-
	H28	187,309	0	189,442	304,269	407,214	0	0	0	0	407,214	-
宅地造成事業	H29	22	0	44,862	1,712	0	0	△ 46,552	0	△ 46,552	46,552	-
	H28	180	0	45,039	1,912	0	0	△ 46,771	0	△ 46,771	44,859	-

※用地関係会計において、未売出となっている区画分の土地収入額は「0」となる。

※用地関係会計の小計は、①+②-③-④がマイナスであれば、⑤地方債現在高、⑥長期借入金を算入した結果がプラスとなっても「0」となる。

※用地関係会計の事業規模は、地方債現在高と長期借入金の合計額。但し、実質黒字額と土地収入見込額の合計額を下回る場合は、実質黒字額と土地収入見込額の合計額とする。

※資金不足がある場合は、正の数値で表記。(黒字の場合はマイナス表記)